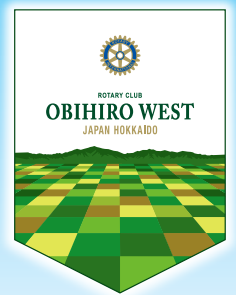




Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ 第1965回例会 2012.9.20 会報



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ



川田会長・カミングキャサリン様・坂下博康様

ゲスト紹介

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
事務局長 坂下 博康様(東京北RC)
RI2500地区米山記念奨学運営委員会
副委員長 讃岐 武史様(帯広RC)
副委員長 渡辺喜代美様(帯広RC)
米山記念奨学生 カミング・キャサリン様

会長報告

本日、米山記念奨学会より事務局長の坂下博康様をお迎えして米山記念奨学会のご説明と基金についてお話を頂きます。

又、報告として高松ロータリークラブと友好提携をすることに成りました。2013年4月頃に調印予定です。

現在の日本を見た時に、ある文献で見ましたが国家滅亡の理論として次の3つがある。耐える、鍛える、備える、この3つの「える」がなくなると国家が滅びると言われている。その様にならないよう日々自己の研鑽に努めましょう。

会務報告

- 各クラブの移動例会・夜間例会の案内
- RI第2500地区 地区大会の案内
- 足寄ロータリークラブ創立50周年
10月21日(日) 15:00 登録開始の案内

ニコニコ献金

- 川田章博会員 本日坂下氏の講演頂きます。遠い所有難う御座います。
- 讃岐武史会員 10月は米山月間です。特別寄付の増進を宜しく願います。
- 久保忠正会員 坂下様東京より一緒に夏を連れてきてくれました。帯広クラブ讃岐さん渡辺さんお世話になり有難う御座います。
- 斉藤憲生会員 急患のため2回連続欠席。メイキャップは当然しております。
- 神田龍一会員 開発局の優良下請表彰。プロジェクト特別委員として札幌西RC訪問歓迎されました。
- 工藤正宏会員 高体連剣道大会で娘が3位入賞。
- 川上哲平会員 35回目のエイジシュート。[つぶやき] 僕って凄いのかな～。
- 小谷典之会員 苦節4年、骨折半年、西RCコンペで初優勝。
- 萱場誠一会員 ゴルフ同好会、久しぶりの準優勝。
- 田中耕吾会員 ゴルフ同好会、初めての真中賞凄く感激です。

プログラム

米山記念奨学委員会委員長 久保忠正

本日は坂下博康様を迎えての講話であります。当クラブ川田会長の本年度の方針でもあります、中央の風を西ロータリークラブへ、というテーマですばらしい方をお迎え致しました。

会員の方々よりたくさんのご寄付を頂き今日現在79万円となっております。目標を100万円にしておりますので、ご理解の上何卒宜しくお願い致します。

それでは、世界に誇る国際奉仕事業という演題で講演をいただきます。

2012年 9月 新世代のための月間

ニコニコ 献金	9月20日	20,000円
	累計	226,000円 (9月20日現在)



会長 川田 章博
幹事 大友 広明

副会長 岡田 武稔
副会長 古田 敦則

会場監督理事 上垣香世子
プログラム委員理事 河西 智子

発行：広報委員会
委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



所属クラブ
第2580地区 東京北ロータリークラブ
2010～11年度幹事

生年月日
1951年1月24日生 61歳 東京都出身

学歴
1974年 慶應義塾大学経済部
1982年 経営学修士 金融論
—MBA シカゴ大学

職歴
1974年4月 東亜燃料工業(株)入社
(現東燃ゼネラル石油)
2001年2月 米・蘭合弁の確定拠出年金
運営管理会社役員
スイスの大手エンジニア
リング会社経理部長
2005年9月 (財)ロータリー米山記念奨
学会 事務局長(現職)

皆さんこんにちは。東京北ロータリークラブの坂下と申します。米山記念奨学会の事務局長をしております。まずもってこの様な場を設けて頂き川田会長他、クラブの皆さま方に感謝申し上げます。仕事柄いろんなクラブに行っておりますが、お世辞抜きに素晴らしいクラブだと思います。

米山記念奨学会とは世界に誇る日本の34地区合同国際事業。ただひとつの事業を60年間ぶれずに行っているのは世界でもめずらしく成果も充分上げてきております。

ここでタイバンコク学友会設立に当たり、元RI会長ビチャイ・ラタクル氏の「米山ナイト」パーティでのスピーチをご紹介します。

「聡明な若者たちは、日本で学んだ事を卒業後、国に戻りどのような地位や状況であろうとも、日本で学んだ事柄、米山奨学生の仲間また日本のロータリアンとの友情は、心にいつも残っています。まさに、親睦、友情関係、人と人の理解、協調性の促進であります。この若者たちは、真の日本の親善大使であります。彼らは私達の将来です。母国のみではなく、世界への親善大使であることを期待いたします。米山奨学生はわかっています。日本は規律正しく、礼儀正しく、時間厳守である。正直そして勤勉な人たちが住んでいる国である事をわかっています」

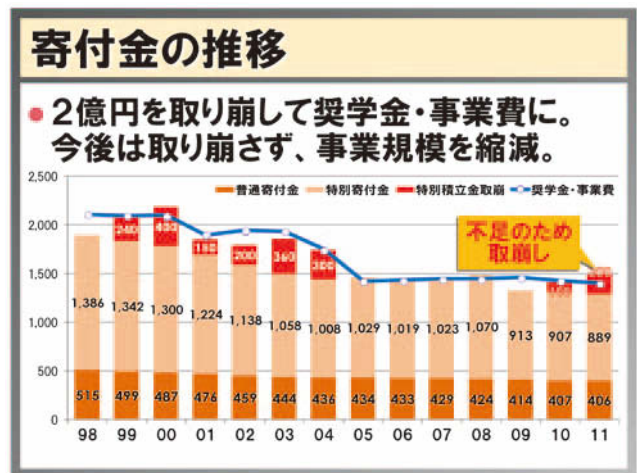
という事でこれまで素晴らしい活動をしてきた米山事業。日本ロータリー 34地区には世界に誇る合同国際奉仕事業と実績を理解して頂き、ご支援を頂きたく伺っております。

(財)ロータリー米山記念奨学会とは日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を渡す事だけではなく、心と心の交流を通して将来日本と世界とを結ぶ懸け橋となる人材の育成事業、お金を出すだけではなく、世界の平和親善を尽くす事を目指しております。

民間最大の国際奨学財団今年800人支援をしておりますが、2013年には資金不足により700人に減ります。これまでに累計121ヶ国約17,000人の奨学生を支援してきております。又、お金を渡す事だけではなく、「世話クラブのカウンセラー制度」も特徴です。最終目的は学業優秀な方ではなく、将来に渡り国と国の懸け橋になり世界平和親善に貢献出来る人材育成が目的であります。

ここで歴史の話をさせていただきます。米山梅吉さんは初代東京ロータリークラブの会長であります。

- 1946年4月28日 米山梅吉翁78歳で逝去
- 1949年(戦後) 日本国際ロータリー復帰
- 1952年 東京RC会長古沢文作4代目会長が米山翁の生前意図された「米山基金」を思案し東京ロータリークラブの事業の一つとして「翁の遺徳を讃うる無形の金字塔となさん」と言う事で始めました。しかし1クラブでは資金に限界がありこれを聞いた他クラブが
- 1956年 東日本二つの地区又西日本でも地区大会で決議されました。
「ロータリーの国際奉仕として最もふさわしい企てであって、その連続性が望ましい。財団法人として全国的な組織となすべきことを茲に決議する」
- 1956年 二つの地区の地区大会に会長代理1954-1956年度のRI会長「四つのテスト」のハーバート・テラー氏が来訪され、1956年第60地区の地区大会での挨拶で米山事業に触れ「あの立派な奨学金制度の事であります。私は、その奨学金によって日本に勉学に来られた二人(タイとインド)の青年にも会いましたが、この立派な仕事に対し深く感謝いたします」東京RCの功績を讃えて感謝の意を表しました。 ハーバート・テラー
- 1957年 全国組織が発足し「ロータリー米山奨学委員会」 初代委員長兼RI理事小林雅一氏が就任
- 1967年 財団法人設立。財団法人ロータリー米山記念奨学会趣意書。
「この法人は、全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営され、ロータリー目的達成に寄与する事を目的としている」
法人設立に当たり役所の方より寄付金が集まらなかったらどうするのかと言われ、この年度の会長より安定的に普通寄付をする、という念書をいただいております。
- 2012年 公益財団法人となる



【説明】
米山奨学会への寄付金は1996年をピークに下降しつづけています。(薄いオレンジ色の特別寄付金+オレンジ色の普通寄付金)
そのため99年からは「特別積立財産」(赤色)を取り崩しながら、従来通りの人数、1,000人を支援してきました。
しかし2005年度からは特別積立財産の取り崩しをせず寄付額に見合った規模へと縮減する事が決まりました。
「奨学金・事業費」(青い折れ線)が2005年度に大きく減少している理由は2005年4月より奨学生採用数を1000人→800人、2013年度800人→700人に縮小。奨学金額は大学院生15万円→14万円、学部生12万円→10万円に縮減したためです。
23年度は(24年6月)普通寄付4億円、特別寄付12億9500万円、合計12億9500万円、内訳：事業費12億900万円(奨学生現金支払い分)各クラブ補助金を含め14億円かかっており、管理費は利子収入でまかなっております。

寄付について：税制上の優遇措置

米山記念奨学会への特別寄付金は寄付金控除の対象となり、所得税が軽減されます。詳細は2012-13年度版豆辞典をご覧ください。